

# 平成26年度 第8回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成26年11月28日（金）14：00～15：15

場所：5階庁議室

## <議題1>14：00～14：35

【議 題】 （仮称）熊本市子ども輝き未来プラン（素案）について

【提 案 局】 健康福祉子ども局（子ども支援課）

説明者：宮本健康福祉子ども局長（今村子ども支援課長）

【出 席 者】 幸山市長、高田副市長、牧副市長、藤本総務局次長、原本企画振興局長、木下財政局長、原山農水商工局総括審議員、田上中央区次長、松平東区次長、今村西区次長、宗南区次長、平川北区次長、岡教育長

【付議内容】 （仮称）熊本市子ども輝き未来プラン（素案）を確定したい。

【資 料】 ◇付議事項調書（様式1）  
◇「（仮称）熊本市子ども輝き未来プラン」概要  
◇「（仮称）熊本市子ども輝き未来プラン」（素案）  
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆原案了承

【議事概要】 ◇（仮称）熊本市子ども輝き未来プラン（素案）について確定した。

【審議の経過】 ◇成果指標にある妊婦健康診査受診率については、目標値を100%へ変更するのか。（幸山市長）  
⇒局内で再度検討した結果、目標値を100%に修正し、素案の記載についても今後修正する。（宮本健康福祉子ども局長）  
◇事業計画において、放課後児童健全育成事業の高学年の量の見込が平成25年度実績から比較すると過大な量ではないかと思われるが、アンケート調査結果に基づくためか。  
（高田副市長）  
⇒アンケートでは、利用が可能であれば利用したいという人

の回答も含まれているため、過大に出ているのではないかと  
思料。(宮本健康福祉子ども局長)

⇒確保方策等の対応については、教育委員会と連携していく  
とあるが、具体的にはどのように動いているのか。(高田副市長)  
⇒現在、教育委員会とプロジェクト会議を開催している。

(宮本健康福祉子ども局長)

◇病児・病後児保育事業で現在の利用実績と量の見込みが乖離  
していることについて、実際の利用は病気に罹らなければわ  
からないものであるため、量の見込みについては実績を踏ま  
えた調整がさらに検討できないのか。(木下財政局長)

⇒事業計画に記載している量の見込みについては、子ども・  
子育て会議に諮り既に調整を行った結果であるものの、ご  
指摘のとおりそれでもニーズ量が過大と思われるところは、  
毎年度の利用実績等を踏まえて確保方策を検討していきたい。  
(宮本健康福祉子ども局長)

◇少子化対策の一つとして、「結婚」に関する支援を計画で位置  
づけたのは初めてになるのか。(原本企画振興局長)

⇒計画に位置づけたのは初めてであり、少子化対策に向け結  
婚に関する意識啓発などを行っていききたいと考えている。

(宮本健康福祉子ども局長)

◇量の見込みについては、アンケート調査結果を子ども・子育  
て会議に諮りながら調整を行っているのか。(幸山市長)

⇒すでに利用実績等を踏まえて調整を行っているものの、そ  
れでもまだ過大と思われるものもある。(今村子ども支援課長)

◇基本方針1にある施策6「子どもの貧困対策」は、子ども子育  
て支援新制度でどのような位置づけにあるのか。(幸山市長)

⇒新制度における必須事業、任意事業ではないが、次世代育成  
支援行動計画の中で取り込んだ施策である。

(今村子ども支援課長)

⇒子どもの貧困対策は、ひとり親家庭の子どもの貧困率が5  
割を超えている現状を踏まえ、生活困窮者自立支援法施行に  
向けて、必要な取り組みである。また、区役所での運用につ  
いてはさらに検討していく必要がある。(田上中央区次長)

<議題 2>14 : 35~15 : 15

- 【議 題】 第 3 次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）  
について
- 【提 案 局】 健康福祉子ども局（健康福祉政策課）  
説明者：宮本健康福祉子ども局長（井上健康福祉政策課長）
- 【出 席 者】 幸山市長、高田副市長、牧副市長、藤本総務局次長、原本企画  
振興局長、木下財政局長、田上中央区次長、松平東区次長、今  
村西区次長、宗南区次長、平川北区次長
- 【付議内容】 第 3 次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）を確定  
したい。
- 【資 料】 ◇付議事項調書（様式 1）  
◇【資料】「第 3 次熊本市地域福祉計画」【第 3 次計画の概要】  
◇第 3 次熊本市地域福祉計画・熊本市地域福祉活動計画（素案）  
◇政策調整会議内容検討表（様式 4）
- 【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承
- 【議事概要】 ◇第 3 次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）につ  
いて、以下の点に対応の上、了承した。  
・将来人口推計に関する記載を追記、修正すること。  
・民生委員の定数充足率の目標値を修正すること。  
・福祉に関する相談先の一覧を作成すること。  
・高齢者の就労に関する取組みの記載について検討すること。
- 【審議の経過】 ◇第 2 章の将来人口推計において、平成 25 年 10 月の実績値の  
み記載されているが、平成 26 年 10 月の実績値も既に出ている  
ので、最新のデータとして追記すべき。また、将来推計は第 6  
次熊本市総合計画によるとされているが、これは本市独自の推  
計ではないので、出典は国立社会保障・人口問題研究所による  
とすべきではないか。（牧副市長）  
⇒最新のデータを追加するとともに、出典の修正を検討する。  
（井上健康福祉政策課長）  
◇市と社協の計画を一体として策定した後の、社協との連携は  
どのように想定しているのか。（幸山市長）

⇒この計画を策定する際に、社協も検討委員会に入って議論を一緒になって確認したことで、計画に対する理解も向上していると思料。今後、策定された計画に基づいて、しっかりと連携していきたい。（井上健康福祉政策課長）

◇民生委員の定数充足率の目標値は100%ではないのか。  
（幸山市長）

⇒体調不良で辞められて欠員が出るなど不可抗力の部分を考慮し、現実的に考えて98%という目標設定にした。しかしながら、現在、民生委員の定数充足率の考え方の修正を検討しているところであり、目標値100%の設定も可能と考えるため、目標値を修正する。（井上健康福祉政策課長）

◇避難行動者数が目標どおりになると多数になるが、どうやって支援するかが問題ではないか。（幸山市長）

⇒誰が支援するかは、自主防災クラブであったり自治会であったりするところで、総務局が中心になって検討するということで役割分担をしながら、計画を策定してきたところ。

（井上健康福祉政策課長）

⇒支援者の名簿を改めて整理するなど、より現実的な計画にはなっていると思料。（宮本健康福祉子ども局長）

◇社協の施設も含めて、福祉に関する相談先となる施設の一覧を作成できないか。（高田副市長）

⇒作成を検討する。（井上健康福祉政策課長）

◇計画の推進体制において、行政は市役所と区役所として一括りになっているが、今後とも、その庁内の連携についても十分配慮していただきたい。（原本企画振興局長）

◇高齢者の生きがいつくりの記載について、高齢者の就労に関する記載がないが不要か。（幸山市長）

⇒地域福祉の計画なので、就労に関する記載は不要としたところであるが、改めて検討する。（宮本健康福祉子ども局長）